

2017年

1
月号

組合会報

〈発行所〉
埼玉県鍍金工業組合
 〒331-0811
 さいたま市北区吉野町 2-222-7
 TEL 048 (666) 2184
 FAX 048 (652) 7631
 〈発行人・理事長〉
 黒澤 久
 〈編集人・総務委員長〉
 島田 幸昌

—今月号の主な内容—

「真実は1つ、解釈は無限」理事長 黒澤 久……………2	関東甲信越静ブロック会議開催 ……………9
公害防止管理者定期研修会を開催 ……………3	全国鍍金工業組合連合会 第53回全国大会 ……10
視察研修旅行 ……………5	川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰 ……………11
埼玉県めっき工業技術競技会開催 ……………7	



157号



新年を迎えて「真実は一つ、解釈は無限」 埼玉県鍍金工業組合 理事長 黒澤 久



新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。日頃は組合に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、アメリカではトランプ大統領が就任されました。日本は、世界は、経済は、どうなっていくのでしょうか。皆様も危惧されていると思います。皆様も危惧されていると思いますが、向へ導いてほしいと願う

てやみません。

さて、今回は新年にはふさわしくないマイナーな話をさせて頂きます。

トップの仕事は日常から無数の課題がありこれを紐解いて解決して行く事だと思ふ。その時の真実（現象）は常に一つである。しかし、解釈は人の数だけある。

ご存知の方も居ると思ふますが、有名なアフリカの商社マンの話ですが、商社マン二人が裸足で生活しているアフリカ人を見て、解釈が分かれた。

A「靴を履いていない」だから無限のニーズが有る」
B「靴を履いていない」だからここにはニーズがない」

二人が見ている事実は同じだが、解釈は反対である。あるいは

現代人は「何も感じない」が多いかもしれない。

同じ現象を見ても、その人の生や価値観によつて解釈は無限にある。

どの会社も似ている問題に直面しても、トップの解釈はバラバラであり、トップの解釈が会社を「存続」か「潰す」かの社運を決めてしまふと思ふ。

「存続社長と潰す社長の法則」から
・ 存続社長は、一分の遅刻を許さない。

潰す社長は、一時間の遅刻を許さない。
・ 存続社長は、年上の部下に好かれる。

潰す社長は、年下の部下のみで固める。

・ 存続社長は、自分から社員に挨拶する。

潰す社長は、社員から挨拶されるのを待つ。

・ 存続社長は、他の業界から学ぶ。潰す社長は、業界内で真似をする。

・ 存続社長は、「入社三ヶ月の社員でも売れるように」が口癖。

潰す社長は、自分なら売れるが口癖。

・ 存続社長は、インタビューを受ける。
潰す社長は、広告を載せる。

・ 存続社長は、ヒントをささやく。
潰す社長は、ハッパをかける。
・ 存続社長は、リンゴの周辺を描く。

潰す社長は、リンゴそのものを書く。（など等）

このように書いてありますがそのまま鵜呑みにするのはどうかと思います。皆さんもいくつかは心当たりが有るのではないのでしょうか。

また、「あと十年で消える仕事」が話題になっています。その業種を上げてみましょう。

倉庫作業員(自動化) レンタルビデオ店員(店舗激減) ホテル受付(ロボットが加速) ウエイター ウェイトレス(回転すし化) タクシー ドライバー(自動運転) 歯科技工士(3Dプリンター置換) など 沢山あり、AIが進むと更に電話オペレーター、スポーツ審判、翻訳、レジ係など何十業種が人間がやらなくても良いようになっていくのでしょうか。興味のある方は是非一読をお勧めします。

ただ、この内容をよく見るとサービス業や侍(士)業が多くを占めており製造業、ものづくりが少ないように感じましたが、製造業

は数十年前からコスト低減の為にオートメーション自動化が進んで来ているせいなのでしょう。しかし国内の製造業が減少して行く中で危機感はぬぐえないと思います。

日常の中でうっかりでなくしっかり仕事に当たり皆一緒に今年も頑張りましょう。

暗い内容でしたが反面教師として捉えて頂くようお願いいたします。

結びに会員の皆様にとりまして今年が更なる飛躍の年になるようご祈念申し上げ新年の挨拶とします。



「公害防止管理者定期研修会」を開催

「今年度2事業所の組合への新規加入を得たが、1事業所が脱退となった。日頃より申し込んでいるが、埼玉県に事業所があるが他県に本社があるため組合に未加入な事業所が多い。排水は埼玉に流しているのでぜひ埼玉の組合にも加入をと促している。

東京都の豊洲市場の土壌汚染が問題になっているが、我々とは問題が異なるが、他人ごとではなく、気を付けて行かなければと思う。

組合事業の大きな柱である排水分析は、組合員事業所の多くが法律に定められている自主分析に利用している。行政の立入分析の結果と合わせて、年一回、排水管理優良事業所表彰を行っている。これは、各事業所の公害防止対策の意識を高め、もって排水事故の未然

平成28年10月5日(水)午後1時40分より大宮ソニックシティに於いて、組合員企業の公害防止管理者を対象に研修会を開催しました。

矢澤一久環境委員の司会で行われ、吉田幸司副理事長の開会の辞に続き、黒澤久理事長が次のように挨拶しました。



防止に役立つよう組合の大切な事業と考えているので、各事業所の協力をお願いしたい。

今後環境への規制は益々厳しくなっていくと考える。全鍍連及び他都道府県組合とスクラムを組んで、国や県に我々めっき業界の要望を強く伝えていきたいと考えるので、各組合員のご協力を仰ぎたい。」

続いて、埼玉県環境部水環境課



課長の葛西聡様よりご挨拶を頂きました。

第一講演は「最近の水環境行政について」と題し、埼玉県環境部水環境課主任奥村健様にご講演をお願い致しました。講演内容は、以下の通りです。

1. 近年の環境問題の動向
① 新たな課題についての世界の動き「自然共生社会・低炭

素社会・循環型社会」

② 水生生物の保全に関する環境基準「水生生物の保全も重要な観点となつて来ている」

2. 県内の河川環境の現状

① 公共用水域の水質の状況について

② 河川に係る施策の紹介「川の国埼玉はつらつプロジェクト、水辺空間の利活用の推進」

3. 異常水質事故の未然防止

① 異常水質事故発生件数の推

移

② 異常水質事故の発生原因(油

類の流出、魚類のへい死、着色水濁水の流出)

③ 異常水質事故が重大化した事例とその原因

④ 異常水質事故の未然防止対策

4. 水質総量規制基準の一部改正(予定)のお知らせ
第7次総量削減計画の紹介

5. 近年の規制基準改正のお知らせ

せ

① 排水基準の改正
トリクロロエチレン

0.3 ↓ 0.1 (平成27年10月21日)

② 暫定排水基準の改正
ほう素及びその化合物

ふっ素及びその化合物

アンモニア・アンモニウム化合物

亜硝酸化合物及び硝酸化合物

1,4-ジオキサン

亜鉛

③ 土壌汚染対策法への追加

クロロエチレンの特定有害物質への追加

第二講演は、「廃棄物資源化・減容化について」と題し、株式会社JEMCO代表取締役神谷正光様にご講演をお願い致しました。講演内容は、以下の通りです。

① 廃棄物の可視化
排出マネジメント

② 廃棄汚泥の資源化
めつき汚泥の有価物化

③ 廃棄汚泥の減容化
新しい凝集吸着剤の紹介

④ 無害化

亜鉛の除去、六価クロムの除去

⑤ 分離回収
プラめつき素材等分離困難な廃棄物の有価物化

また、当研修会に都合で参加できなかった事業所を対象に、平成28年11月24日(木)午後2時より、組合事務所内の会議室で行いました。当日は、研修会のビデオ上映を行い、公害防止への再確認と理解をして頂きました。

最後に、埼玉県鍍金工業組合の組合員企業への意識の高さと前向きな姿勢を継続して頂くためにも、この研修会がその一助になればと願っております。来期以降も各組合員企業及び関係各位のご協力のもと定期研修会を継続し、100%の出席を目指して行きたいと思っておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

視察研修旅行

株式会社 大協製作所見学



埼玉県鍍金工業組合は、平成28年10月16日(日)17日(月)の2日間、視察研修旅行を開催した。初日は横浜中華街にて昼食後、横須賀にて軍港めぐり、江の島にて長旅の疲れを癒し、2日目は大協製作所を見学後、横須賀刑務所を見学する行程で開催された。

16日朝7時45分大宮ソニックシティ裏手に集合後、参加者25名を乗せた観光バスは、一路横浜方面へ出発。首都高経由で横浜に入り

方より懇親会が行われ終始和やかに懇親がはかられた。

三菱みなどみらい技術館に到着、MRJ、ロケットのエンジン、しんかい6500等の実物大展示等を見学した。その後横浜中華街に移動し、「招福門」にて昼食。バスは横須賀へと移動し、横須賀市内散策後、横須賀軍港めぐりを楽しんで。当日は港内に自衛隊の最新鋭空母「いずも」や、米軍のイージス艦、南極観測船「しらせ」の姿もあり、天候も相まって「当たり」の日であったようだ。

翌日は生憎の雨となったが、スケジュール通り江の島から横浜市保土ヶ谷区の大協製作所に向かうこととなった。同社は知的障害者を中心に先代から56年間雇用を続けている業界でも著名な企業であり、厚生省の障害者雇用優良企業にも認定されている。今回は全連会長でもある経営者の栗原敏郎氏に経営の特色について直接伺うことができた。

このツアーの後、バスは江の島へ向かい、宿泊地である文化庁認定の国の登録有形文化財のローマ風呂で有名な「岩本楼」へ到着した。

周辺の自由散策や入浴の後、夕

昭和29年に創業された同社は、電気亜鉛・カチオン電着・バレル研磨を主業務とし、従業員55名中35名が障害者である。亜鉛・電着塗装等主力ラインは極力自動化が図られ、障害者は引っかけ等の作業に従事している。障害者とはいえ、こちらに対して挨拶がしつか

平成29年1月20日



りできる等かなり教育されている様子が見てとれた。

垂鉛めつきラインは1ハンガーに対し1電源を充てられる特注仕様で細かくコントロールしているようだ。安全対策・めつきの条件設定等の知識が必要な作業は健康者が行い、ラインの記録等も障害者が記録できるよう工夫をされている様子だった。実作業については障害者が障害者を教育するなどのシステムも構築している様子。40代で体力が落ちるため、労働から福祉方面へシフトチェンジしフ

ルタイムをやめてパートタイムにする等して長期雇用できるよう工夫しているとのこと。

障害者と健常者では障害者を信じる方針で、余裕のある健常者が減っているせいも、健常者のほうが定着率は悪く、障害が重いほうが定着率が良いのだそう。

他にも節電やガス削減による省エネ活動や企業内人材育成助成金を利用し就業規則に報償金の項目を設ける技能検定の制度変更等、徹底した機会活用により利益の最大化を図る企業姿勢は学ぶところが多かった。

大協製作所を見学後、バスは横須賀を再び目指し市内「魚藍亭」にて昼食。

ドブ板通りを1時間ほど散策後、横須賀刑務所に向かった。

同所は旧海軍の海軍監獄として設立され、終戦後は外国軍属の軍紀違反者の集禁施設として使用された後、現在は軽犯罪の服役者に

石鹼製造等の刑務作業を科す収容施設となっている。

今回は服役後の就労支援という視点から説明を受けた。

石鹼を製造する工程はISO9001を取得されているとのこととで整っており、動線や注意書きの表示は工場顔負けに整備されていた。

着座にての就労支援の取組については実例を交えて、かなり詳細な内容を聞くこともでき、人手不足・人材難が危惧される現在、雇用の一つの手段として十分検討する余地があると思うに至った。

この後、バスは帰路に就き大黒埠頭SAで土産を選んだ後、17時頃解散場所となるソニックシティに到着、無事に今回の視察研修旅行を終了した。

今回の視察のテーマとして挙げられていたCSR(企業の社会的責任)はますます求められる時代になってくると思われます。今回

の視察ではこれからの組合として、またその所属企業として良いヒントが得られたのではないかと思います。

見学にご協力下さった関係先の皆様、お忙しい中ご参加いただきました組合員の皆様、本当に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

総務委員 山本隆治



埼玉県めつき技術競技会審査会の開催



平成28年11月24日(木)埼玉県産業技術総合センターにて第59回めつき技術競技会外観審査会が行なわれました。

開催にあたり関東学院大学山下名誉教授、山崎特級めつき技能士、新任のセンター副根室長よりご挨拶を頂戴し、黒澤理事長・吉田担当

副理事長・各技術委員並びにセンター担当各位の紹介が行なわれました。

審査に先立ち、諸案件に関する意見交換・審査実施の注意事項説明があり、各性能試験結果を踏まえ、各競技部門に付き技術委員二名がそれぞれ審査を実施した後、山下・山崎両先生に最終判定をお願いし、外観審査得点を加算した最終結果が決定されました。



本年度めつき技術競技会各賞受賞者におかれましては、別表にてご確認下さい。

また、本年度も各事業所様には多大なるご協力を賜り、参加企業数29社・複数部門応募も含めますと38社・申込試料総数は42件のご参加を頂きました。

皆様ご多忙の中、沢山のご参加を頂きました事は、ひとえに皆様方のご尽力の賜物と感謝申し上げますとともに、新たに競技会審査結果の評価点に加え、各性能試験でのランキングを付け加えさせて頂きましたので、各事業所様の性能試験の目安としてご利用頂き、更なる技術向上に役立てて頂く為、本競技会をご活用頂けたらと願う次第です。

また、本年度より最新測定機器を完備されますセンターをよりご理解・ご活用頂ける様、表彰式講演と致しまして各種試験・測定機器等の御説明を頂く運びとなりました。



たので、是非併せてご聴講下さい。

最後となりますが、めつき技術競技会受賞事業所様並びに、排水管理優良受賞事業所様にお祝いを申し上げますとともに、開催にあたり多大なるご協力を賜りました関係各位並びに今回ご参加下さいました全ての事業所様に御礼を申し上げます。

技術委員長 新谷祐司

平成28年度(第59回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部	無電解ニッケルめっきの部
埼玉県知事賞		ふたば工業(株)	(株)トーツー創研 大森 留次	(株)精硬クローム工業 大平 義和	(株)大倉	高松電鍍工業(株) 無電解Ni1号ライン
埼玉県産業労働部長賞		(株)甲斐野テックス 長谷川 学	(株)大宮鍍金工業 須永 勝則	新硬クローム工業(株)	(株)小築鍍金工業所 森 正伸	吉野電化工業(株)
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)渡辺鍍金工業所 渡邊 順一	(有)池澤鍍金工業所 藤原 亘	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭	カツデン(株)	(株)パーツ精工 表面処理事業部 小野 友義
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)小林鍍金工業	押尾化学工業(有)	吉野電化工業(株)	(株)大宮鍍金工業 眞下 薫	スリーク(株)
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(株)東工業	吉野電化工業(株)	(株)オーク埼玉工場 A ディアスガアキラエンリケ	(有)小林鍍金工業	(株)明光社
フジサンケイビジネスアイ賞		(有)坂寄鍍研精工	(株)大倉	仁科工業(株) 佐藤 真弥	(株)東工業	日本電鍍工業(株)
産業通信社賞		(有)今井メッキ工業所 今井 翔悟	(有)阪本鍍金	東洋硬化クローム(株)	押尾化学工業(有)	(株)精硬クローム工業 岸 勇次

平成28年度排水管理優良事業所
平成27年10月～平成28年9月
表彰事業所

埼玉県知事感謝状	11年連続	第2支部	(株)長沢製作所
埼玉県鍍金工業組合理事長表彰	5年連続	第7支部	(有)坂寄鍍研精工
	3年連続	第6支部	仁科工業(株) D工場
			(株)大宮鍍金工業(川越工場)

連続年数	支部	プレート授受事業所	連続年数	支部	プレート授受事業所
5年連続	第1支部	新田興業(株)	1年	第5支部	カツデン(株)
1年	〃	(株)サニー電化	〃	〃	(有)池澤鍍金工業所
〃	〃	(有)二幸鍍金工業所	19年連続	第6支部	(株)東工業
15年連続	第2支部	(株)島崎鍍金	4年連続	〃	仁科工業(株) A工場
16年連続	第3支部	栄電子工業(株)	〃	〃	(株)大宮鍍金工業(本社)
4年連続	〃	(有)石井鍍金工業	2年連続	〃	仁科工業(株) B工場
3年連続	〃	押尾化学工業(有)	〃	〃	(有)生田目鍍金
3年連続	第4支部	(有)吉田商店	〃	〃	(株)小林鍍金工業
33年連続	第5支部	(株)イシワタ	〃	〃	仁科工業(株) E工場
8年連続	〃	(有)植木硬質クローム工業所	12年連続	第7支部	(株)精硬クローム工業(第2工場)
2年連続	〃	朝日工業(株)	5年連続	〃	(株)明光社
〃	〃	松原金属工業(株)	3年連続	〃	新硬クローム工業(株)
〃	〃	(株)安藤化成	〃	〃	(株)ダイエイバレル
〃	〃	吉野電化工業(株)(第2工場)	〃	〃	(有)堤北鍍金
〃	〃	(株)新和エコー(第1工場)	2年連続	〃	(株)精硬クローム工業(第1工場)
1年	〃	(株)新和エコー(本社)	1年	〃	(有)石田電解研磨工業所
〃	〃	双葉硬質クローム工業所	〃	〃	(有)共栄工業

平成28年度関東甲信越静ブロック会議



平成28年度、全国鍍金工業組合連合会、関東甲信越静ブロック会議は、平成28年10月7日栃木県那須町の「ホテルエビナール那須」で盛大に開催されました。

第1部のブロック会議は、ホテル2F 葵の間で開催され、茨城県鍍金工業組合 溝口輝明理事長

営者部会の活動などについてお話しいただきました。

より開会が宣言された後、幹事県代表として栃木県鍍金工業組合林直明理事長が代表挨拶をされました。少子化等の懸念材料、土壌汚染問題等の若手・次世代への課題についてふれられていました。

次に来賓挨拶として、全鍍連栗原敏郎会長より挨拶があり、全国めつき技術コンクール 女性経

の席が設けられ、各参加組合の紹介を交えながら美味しいお酒と料理に舌鼓を打ち、終始和やかな懇

続いて議事に移り、議長は幹事県を代表し栃木県の林直明理事長が務めることとなり、まずは全鍍連概況報告を清水篤人専務理事が報告され、組合員・事業所数などの概況の他、特に労働安全衛生法の改正にもなる平成28年6月1日より実施が義務付けられたリスクアセスメントについて、ほう素・ふっ素・亜鉛の暫定排水基準について詳しく報告がありました。

続いて平成29年度の幹事県が決定され、次回は神奈川県・山梨・静岡

が務めることとなり幹事県代表として神奈川県鍍金工業組合 薄衣敏則副理事長が挨拶されました。

最後に閉会の辞を千葉県鍍金工業組合 福井順子理事長が行い、ブロック会議は閉会となりました。

休憩をはさみ、第1部と同じ2F 葵の間にて第2部の懇親会



親の場となりました。

1部の会議と2部の懇親会の間には約2時間の入浴用の休憩を挟んで頂く等、遠方から来られたり、家族連れで来られた会議参加者に対する幹事県の方々のお心遣いを感じる催しでした。

幹事県でいらっしゃる茨城県、千葉県、栃木県の皆様方には、大変お世話になりました。

全鍍連第54回全国大会



54回全国大会を、11月25日に、機械振興会館にて出席者170名で行われました。

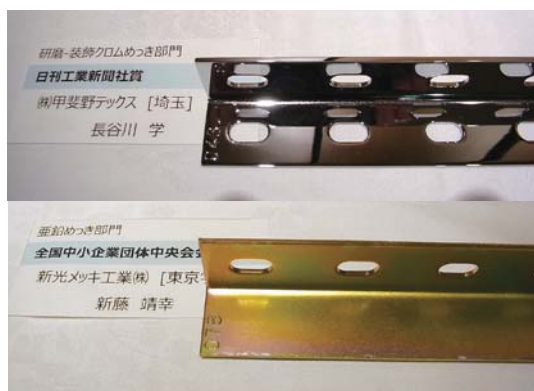
本大会は、池田総務委員長の司会進行によって行われ、最初に神谷(博)副会長が開会宣言を述べた後、国歌斉唱並びに業界関係物故者への黙祷が行われました。続いて主催者を代表して、研修視察旅

行で見学させていただいた、株式会社大協製作所の社長であり全鍍連の栗原会長が、

「本日はお忙しい中、全国から第54回全国大会にご出席くださり、大変ありがとうございます。コンクルールの参加件数が昨年度に引き続き過去最高件数を更新しました。今年も上位の点差が極めて僅



差であったことを聞いており、本年度も大変ハイレベルな大会となりました。さて先日メキシコへ視



察をして参りましたが、グローバルレベルで品質競争が一層厳しくなっているようです。「日本の力、めっきの力」に恥じないよう、引き続き業界の技能向上に全力で取り組んで参りたいと思います。今後とも皆様のご支援、宜しくお願いたします。」と挨拶を述べました。

大会表彰に移り、埼玉県の表彰者は、別表でご紹介します。

尚、第54回全国大会宣言(スローガン)「日本の力めっきの力」技のこだわり 日本のものづくりを動かす原動力』に採択されました。



54回全国大会の埼玉会員の表彰者

株式会社甲斐野テックス

組合功労役員表彰

・全国鍍金工業組合連合会会長賞

吉田 幸司

【装飾クロムめつき部門】

山上 寛之

有限会社吉田商店

日本電鍍工業株式会社

出野 哲也

・全国鍍金工業組合連合会会長賞

株式会社大宮鍍金工業

銀賞

新谷 祐司

【装飾クロムめつき部門】

新硬クロム工業株式会社

正田 充広

小林 勝

高松電鍍工業株式会社

株式会社パーツ精工

【亜鉛めつき部門】

長澤 智久

環境整備優良事業所認定事業所

株式会社長沢製作所

株式会社明光社

佐藤 真弥

仁科工業株式会社

全国めつき技術コンクール表彰

・全国鍍金工業組合連合会会長賞

・全国中小企業団体中央会会長賞

銅賞

【亜鉛めつき部門】

【装飾クロムめつき部門】

新藤 靖幸

佐藤 真弥

新光メッキ工業株式会社

仁科工業株式会社

・日刊工業新聞社賞

【亜鉛めつき部門】

【研磨・装飾クロムめつき部門】

山上 寛之

長谷川 学

日本電鍍工業株式会社

川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰

賞されました。

顕彰制度各賞は、『かわぐち』の頭文字を取って『川口耀き賞』『川口技あり賞』『川口グッドデザイン賞』『川口チャレンジ賞』の計四件から構成されており、更に川口産業技術・技能者大賞が同制度審査員満場一致で受賞されます。

瀬野会長の30年以上の経験の中、二百種類以上もあるバレル研磨メディアの確な選定や製品に見合った研磨材が無ければ、材料の研究・開発まで行ない顧客ニーズに合わせて来られた結果が今を支えているとおっしゃっておられました。

平成28年11月29日(火)埼玉県川口市駅前市民ホールフレンディアにて本年度川口産業功労表彰式に併せて川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰式が行われました。当組合第7支部から昨年受賞された株式会社明光社石下一明会長に続き、本年度は株式会社ダイエーバレル瀬野徹会長が応募され、見事2年連続の『川口耀き賞』を受

常バレル研磨と云うと、比較的簡単な機構の加工方法と囚われがちですが、複雑な製品形状に伴うバレル回転・水量・材料等様々な複合要素の調整が必要とされ、





瀬野会長の素材や精度に対する技術探究の成果が自動車メーカーの重要保安部品や最高峰のバイクレース等々に活かされておられます。

表彰式では受賞者筆頭として瀬野会長が表彰され、同席されておられました瀬野社長とともに祝杯を挙げられたそうです。

終わりに、株式会社ダイエイパレル瀬野会長の受賞をお祝い申し上げますとともに、技術委員会と

致しましては今後も各事業所様所在地にて同様の技術顕彰制度等がございましたら、応援・協力をさせて頂く所存でございますので、県内の更なる産業技術向上並びに業界発展の為に、ご指導・鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

技術委員長 新谷祐司



『組合との思い出の写真を募集いたします。』

埼玉県鍍金工業組合も皆様のご尽力とご愛顧を頂き、創立50周年を迎えることが出来ました。そこで、皆様と歩んで参りました50年の歴史を組合記録として後世に残したいと考えております。

尽きましては、組合行事などで撮影されたお写真をお借りたいと考えております。写真の内容は、組合行事などで撮影された写真(視察研修・賀詞交歓・講習会・支部会)などを募集したいと思っております。

写真の送付先は、組合事務局に送って頂けるか、デジタル記録であれば、記録メディアなどで送って頂きたいと思っております。募集期間は平成29年4月までお願い致します。

皆様のご協力の程、宜しくお願致します。

総務副委員長 田中知雄

募集の際はどんな行事で撮影された写真なのか、簡単な説明で構いませんので添付して頂ければ幸いです。お借りしたお写真は必ずご返却させていただきますので、ご協力の程

保証企画工芸株式会社
〒110-0012
東京都台東区竜泉1-4-3
TEL03(3875)1641